

この場所から、
学生たちが
新しい音楽を創りだす

この春、長崎大学の文教キャンパスに、新しい音楽ホールが誕生しました。その名も「長崎創楽堂」——この場所から、学生たちが新しい音楽を創り、成長していつてほしい——そんな願いを込めて名付けられたものです。もちろん、学生のためだけでなく、一般の方も広く利用できます。創楽堂の創設に尽力された堀内伊吹副学長にお話をお聞きしました。堀内先生、ついにオープンですね！

「はい、準備期間は半年ほどですが、以前からこういうものが欲しいという声はずっとありましたからね。いかがですか？ なかなかいいでしょう？ 席数は一〇〇で、ある意味、長崎では一番使い勝手が良い小ホールではないかな、と思います」。

なんでも、素晴らしいピアノがあるんですよ。

「世界のトップブランドであるスタインウェイ&サンズのピアノ（B-211）を十八銀行より寄贈していただきました。長崎にはブリックホールなど数台しかありません。私も弾いてみましたが、音がまろやかで、ピアノを弾いているというより、音楽と対話している気持ちになりました。音楽専攻の学生たちにとっても、演奏表現の深まりとともに、自分の音楽を注意深く聴くきっかけになる

と思いますよ」。

市民にも利用しやすい
大学の施設

このホールは、ピアノだけでなく様々な楽器の演奏、合唱などにも利用しやすいよう、いろいろと工夫をされているようです。

「両サイドの音響板は手で向きを変えられます。ピアノや弦楽器のソロの時はステージに向けて。またアンサンブルの人数が多い時は客席に向けて響きを抑えられます。イスも可動式なので、オーケストラの練習やリハーサルなどにも活用できます。市民のみなさんにもサークルの発表会から有料無料のコンサートまで、ジャンルもクラシックに限らず気軽に使って欲しいですね。地域に開かれた長崎大学という展開の、いいきっかけになればと思います」。

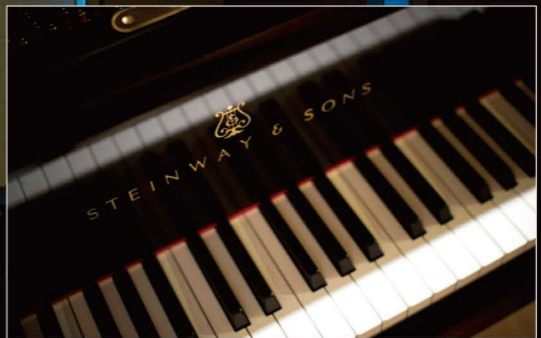
予約は半年前からの受付で、一時間一五〇〇円と利用しやすい料金です。まずはその音と空間の素晴らしさを、みなさんも一度体験してみてください。長崎創楽堂では、マンズリーコンサートなどを催していきます。ぜひ足をお運びください。

TOPICS

Nagasaki So gaku do

長崎創楽堂

文教キャンパスに、
待望の音楽ホールがオープン



Steinway & Sons

何しろ製作に1年をかけて最高の技術で作られる、芸術品と讃えられているスタインウェイ。驚くほど軽いタッチも特徴のひとつ。スタインウェイでなければ…というアーティストも多く、ルービンスタインは、世界中どこかの演奏会でも、自分のスタインウェイを持って移動していたことでも有名です。「比較するピアノはこの世にはない」と言わしめました。



今後の予定

(平成24年度上半期マンズリーコンサート)

7月18日(水) 18時半～
音楽専攻学生による企画コンサート
「長大フレッシュ」 入場無料

8月25日(土) 14時～
岡崎裕美(歌のおねえさん)による
ファミリーコンサート 入場無料

9月19日(水) 18時半～ 入場無料
長大クラシック
「宮下茂 バリトン・リサイタル」

問合せ 教育学部堀内研究室
Tel.095-819-2343

長崎創楽堂DATA

長崎大学文教キャンパス内
教育学部音楽棟1階
取容人数/100席程度
利用時間/9時～21時
休館日/原則土・日曜、祝日(応相談)
利用料金(1時間あたり)
・ホール使用料1500円(ピアノ利用料含む)
・空調使用料 360円
※ピアノ使用の場合、スタインウェイ公認の調律師による調律を利用者負担で行うこと。
申込/長崎大学財務部財務管理課
文教地区会計班 Tel.095-819-2264



6月7日、こけら落としには、世界的に活躍するジャズピアニスト、小曽根真氏による素晴らしい演奏が披露されました。まさに、ピアノは生き物！

創楽堂のある音楽棟は、教育学部校舎の南側にあります。